全国52,000人のボランティア活動を支えます

青い羽根募金活動レポート2017

7月14日の閣議前に青い羽根を着用された閣僚の皆様
（左から）山本農林水産大臣、石井国土交通大臣、石原経済再生担当大臣、安倍内閣総理大臣、麻生副総理・財務大臣、岸田外務大臣、塩崎厚生労働大臣

平成29年度青い羽根募金協調運動

日本水難救済会では、周年、青い羽根募金活動を展開していますが、7月～8月の2ケ月間は、特に「青い羽根募金強調運動期間」と銘打って40ヶ所の道府県地方水難救済会と協力して全国的な運動を展開しています。

平成29年7月14日（金）の閣僚懇談会において、石井国土交通大臣から安倍内閣総理大臣をはじめとする全閣僚（各省庁、政務三役）の皆様に対し、青い羽根を着用していただくとともに、青い羽根募金活動へのご理解とご協力を広くお願いしました。

また、閣議後の会見において、菅義偉官房長官から、国土交通大臣から「青い羽根募金運動に対する協力依頼についてご発言がありました」と報告されました。

閣議の概要について会見する菅官房長官

閣議概要についての官房長官記者会見の動画
http://www.kantei.go.jp/jp/tyoukanpress/201707/14_a.html

ミス日本「海の日」三上優さんが「青い羽根募金強調運動期間」のキャンペーンに協力

「青い羽根募金強調運動期間」のキャンペーンとして、公益社団法人日本水難救済会の相原会長と向田理事長は平成29年7月13日（木）、ミス日本「海の日」の三上優さんと共に、石井国土交通大臣、花角英世海上保安庁次長、長谷成人水産庁長官及び七尾英弘国土交通省官房審議官を表敬訪問し、青い羽根を着けて頂き、青い羽根募金運動の普及推進と強調運動へのご支援ご協力をお願いしました。

ミス日本「海の日」の三上優さんは、表敬訪問の際、大きな「青い羽根」を胸に付け応援に来た海上保安庁イメージキャラクター「うみまる」「うーみん」とともに、「青い羽根募金」普及促進を呼びかけました。

海の救助ボランティアを支える青い羽根募金

海上保安庁イメージキャラクター「うみまる」「うーみん」とミス日本「海の日」の三上優さん

ミス日本「海の日」が石井国土交通大臣をはじめ海上保安庁及び水産庁の長官を表敬訪問

効果的かつ安全な海難救助を行うためには、常日頃から組織的な訓練を行うとともに、ライフジャケットやロープなどの救助資機材の整備や救助船の燃料などが必要となります。これらに必要な資金は、全国的な募金活動等によって集められています。日本水難救済会では、海上保安庁のご指導により昭和25年から「青い羽根募金」を開始し、周年で国民の皆様のご寄附をお願いしています。

石井国土交通大臣表敬訪問のひとコマ。（左から相原会長、ミス日本「海の日」三上優さん、石井国土交通大臣、花角海上保安庁次長、向田理事長）

石井啓一国土交通大臣

大野泰正国土交通大臣政務官

七尾英弘国土交通省大臣官房審議官

花角英世海上保安庁次長

長谷成人水産庁長官

平成29年度青い羽根募金強調運動期間における広報・周知活動

■国土交通省（３号館）各階及び省外の掲示板に青い羽根募金ポスターを掲示

平成29年度青い羽根募金強調運動期間が７月１日（土）から開始されたことに伴い、国土交通省（３号館）各階及び省外の掲示板に「青い羽根募金ポスター」が一斉に掲示されました。

公益社団法人日本水難救済会では、毎年７月１日から８月31日までの２ヶ月間を、「青い羽根募金強調運動期間」として全国的に募金活動を展開するとともに、７月17日「海の日」を中心に、７月１日から７月20日までを青い羽根全国一斉着用期間として青い羽根募金活動を広く国民に周知し、募金への理解と協力を呼びかけるキャンペーンを実施しています。

国土交通省１階及びＢ１階に設置された青い羽根募金箱

国土交通省省外掲示板に掲示されたポスター

■都営地下鉄等駅構内、空港ロビーに青い羽根募金ポスターを掲示

平成29年度「青い羽根募金」強調運動期間において、株式会社ゆりかもめ、江ノ島電鉄株式会社、小田急電鉄株式会社、東武鉄道株式会社及び成田空港ビルディング株式会社の協力を得まして各駅の構内及び空港ロビー等に、青い羽根募金の募金啓発ポスターを掲示していただきました。

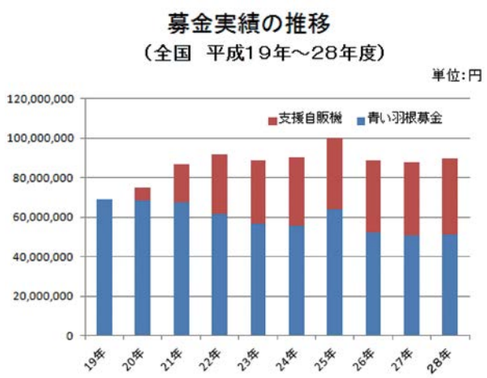
平成28年度　青い羽根募金の実績

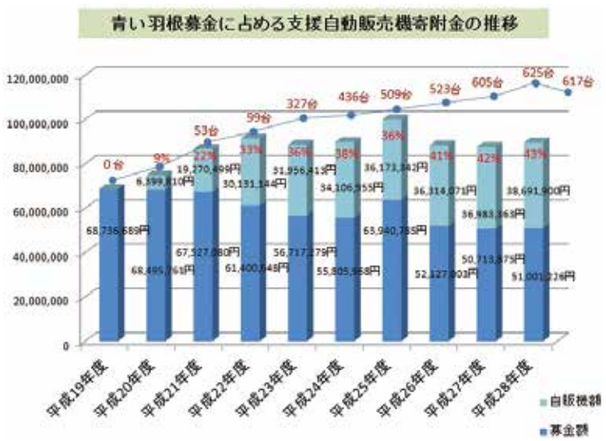
■募金額

日本水難救済会および地方水難救済会は、国土交通省、海上保安庁、消防庁および水産庁のご後援の下、一般市民はもとより防衛省等中央省庁、都道府県、海事関係団体や企業等に対し積極的な募金活動を展開しました。

平成28年度における全国の募金額は、**89,693,126円** となりました。

■青い羽根募金実績の推移（過去10年間）





日本水難救済会では、売上金の一部が青い羽根募金として寄附される「青い羽根募金支援自動販売機」の設置を全国展開してきました。平成19年８月31日、特定非営利活動法人長崎県水難救済会が、第１号機を設置して以来、全国の水難救済会の協力もあり、平成29年３月末現在の設置台数は617台で、平成28年度において、その寄附金額は、募金全体の43パーセントを占めています。

第三管区海上保安本部主催の「巡視船艇・航空機展示総合訓練」における青い羽根募金活動

平成29年５月20日（土）及び21日（日）の両日、東京湾羽田沖等海域で第三管区海上保安本部主催の「巡視船艇・航空機展示総合訓練」が実施されました。

公益社団法人日本水難救済会では、視閲官である石井啓一国土交通大臣及び中島敏海上保安庁長官をはじめ、大勢の招待者や一般参観者が乗船するヘリコプター２機搭載型巡視船やしま（福岡海上保安部所属）及びヘリコプター１機搭載型巡視船つがる（函館海上保安部所属）の船上において、青い羽根募金活動を行いました。

巡視船艇・航空機展示総合訓練の様子

視閲を受ける受閲船隊

海上保安庁マスコットキャラクター「うみまる」（巡視船やしま乗船）、うーみん（巡視船つがる乗船）も参加

船内での募金活動の様子

目白台海洋少年団の団員に募金活動を協力していただきました。